

「笑顔が見たい
一緒に笑いたい」

かわじの丘

令和3年3月発行
発行元
かわじデイサービスセンター
☎ 0265-27-5022



まいった。降参です。



二月と言えば、節分ですね。節分とは本来季節の変わり目を意味して、昔は立春・立夏・立秋・立冬の季節の始まりの前日を節分と呼び、一年に四回あったそうです。しかし、現在では立春の時だけを節分としているようで、邪気を追い払い、素晴らしい春を迎えるために、春の節分だけが残ったのではと言われてきているようです。例年なら二月三日に訪れるこの節分も、今年は何んと二月二日に、なんでも地球が太陽の周りを回るのに時差が生じるためだとか。百二十四年ぶりの現象だということですが、これにはきつと鬼も慌てたことでしょう。川路デイにも鬼がやってきました。皆さんに作って頂いた新聞豆ボールを使い、鬼に扮した職員目掛けて「鬼は外、福は内」と勢いよく豆をまく姿もありました。コロナ禍ではありますが、今年も皆さんが健康で過ごせますようにと職員一同願っております。

イチゴの苗植え

「イチゴ狩りに行きたい」ある職員の一言から、今月はイチゴをモチーフにしたレクリエーションやイチゴのクラフト制作を行いました。そんな中、ある方から「イチゴの苗」を沢山いただけることとなり、午後の活動の時間に皆さんでプランターへ植えました。作業が始まると「こうやって植えるんだに・・・」「水のやり方は・・・」など指導してくれる方がいっぱいおられあつという間に植え替え作業が完了してしまいました。プランターはキャスター付きの台に設置し、昼間は外へ出し、夕方にはデイサービス内の玄関内へ入れています。このところの陽気のよさにいくつか花も咲いてきました。

朝、来所された際にはイチゴの様子を見てくださる方が増えています。「美味しいイチゴが沢山なりますように。どうやって食べよかなあ」まだまだ先の楽しみに心が弾む職員たちでした。

沢山なるかな・・・



花も咲いたよ



大事に大事にぞ〜と

新米だよ！全員集合！！

昨年志村けんさんの「変なおじさん」をモチーフにした案山子をよこね田んぼに出展しました。コロナウイルスの感染予防のためコンテストが取りやめになってしまったのですが、昨年末に実行委員の方が、よこね田んぼで収穫されたお米を届けてくださいました。

そこで、塩おむすびを握り、職員お手製のお漬物を添えて利用者の皆さんに召し上がっていただきました。焚き上がる前からホールにはいい匂いが立ち込め、お腹がグーッと鳴ってしまっ程度でした。焚き上がったお米は一粒一粒とても綺麗でかむほどに甘みが増してくる美味しいお米でした。千代よこね田んぼの関係者の皆様美味しいお米をありがとうございました。

「また来年度も参加しよう」と思いながらおにぎりを握った三日間でした。



美味しゅうございます。

うまいなあ



ご利用者さんに届けて頂いた春の便りの蜡梅を、また他のご利用者さんに生けてもらいました。ありがとうございました。

私が書きました



今月のタイトルは、千代からお越しの森山都子さんに書いて頂きました。ありがとうございました。

森山都子

御礼

今月も皆様からお花や広告箱などいただきました。本当にありがとうございました。

職員一同

